

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

## 事業名 緑化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 恵みの森づくり推進課 緑化推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3035)

E-mail: c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,938千円 (前年度予算額：3,550千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,550	0	0	0	0	0	0	0	3,550
要求額	3,938	0	0	0	0	0	0	0	3,938
決定額	3,938	0	0	0	0	0	0	0	3,938

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県内の緑化の推進を図ることを目的に、岐阜県緑化功労者表彰、岐阜県緑化運動ポスターコンクールを実施するとともに、県内各地で開催されている緑化行事へ協力している。
- ・ (公社) 岐阜県緑化推進委員会が実施する緑化推進活動は、県の緑化運動の推進に寄与するものであるため、賛助金等の負担を行う。

### (2) 事業内容

#### ○緑化普及啓発費

- ・ 緑化に対し功績が顕著な者等を表彰する。
- ・ 小中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒から、緑化を普及啓発するためポスターを公募し表彰する。

#### ○緑化推進事務費

- ・ 緑化事業の担当者会議への出席や現地指導のほか、全国植樹祭・全国育樹祭へ参加する。

#### ○緑化推進事業賛助金

- ・ (公社) 岐阜県緑化推進委員会の会員として年会費を負担する。

○緑化行事負担金

- ・東海3県持ち回りで開催される「東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」に係る経費を負担する（令和3年度開催県：岐阜県）。

(3) 県負担・補助率の考え方

県の緑化推進に寄与するものであることから、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
緑化普及啓発費	339	審査員謝礼等、その他事務経費
緑化推進事務費	1,299	業務旅費等事務経費
緑化推進事業賛助金	2,000	(公社)岐阜県緑化推進委員会 年会費
緑化行事負担金	300	「東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」負担金
合計	3,938	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
  - IV-1 森・川・海をつなぐ清流とふるさとの自然を守る
    - ・森林がもつ水源かん養機能など多面的な機能を維持・増進し、健全で豊かな森林をつくる取組を進め、岐阜県の自然と水源を守る。
- ・第3期岐阜県森林づくり基本計画
  - 3 人づくり及び仕組みづくりの推進

(2) 国・他県の状況

47都道府県全てに都道府県緑化推進委員会が設置されている。

(3) 後年度の財政負担

緑化推進のための経常経費。毎年同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県は(公社)岐阜県緑化推進委員会の正会員であり、県緑化運動の推進に寄与する活動への賛助金等である。

# 事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・緑化関係の各種表彰や、関係団体の会費を負担することにより、緑化関係事業に対する関心・意欲・研究心の増大を促進し、個人・団体等の自主的な活動による緑化推進活動が活発に行われるようにする。
- ・緑化思想の啓発を図る。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

緑化思想の啓発などは定量的に評価することができないため。

### (前年度の取組)

- ① 令和2年度緑化運動ポスターコンクール  
(応募点数：223点 入賞点数：40点)
- ② 令和元年度緑化運動ポスターコンクール入賞作品展示  
(期間：令和2年8月2日～8月10日 場所：アクティブG)
- ③ 令和2年度緑化功労者表彰(被表彰1団体)
- ④ 岐阜県みどりの少年団活動発表大会  
(令和3年1月16日開催予定 場所：各務原市)

### (前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・緑化運動ポスターコンクールや緑化功労者表彰、県内みどりの少年団の活動を支援することなどを通して緑化思想の啓発が図られている。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い	
(評価)  ○	緑化思想の啓発などを図るためには必要不可欠な事業である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)  ○	緑化運動ポスターコンクールの実施などにより、広く県民に緑化の普及啓発を図ることができた。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価)  ○	旅費・消耗品は必要最低限とし、可能な限り経費の節減に努めている。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし
-----------------------------

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 緑化思想の啓発をすすめるため、継続的に緑化運動ポスターコンクール、緑化関係表彰やみどりの少年団の活動支援を行う。
--